



無機有機ハイブリッド弱溶剤2液形ハルスハイリッチ屋根用塗料

RS PLATINUM ROOF MUKI

プラチナ会員限定製品

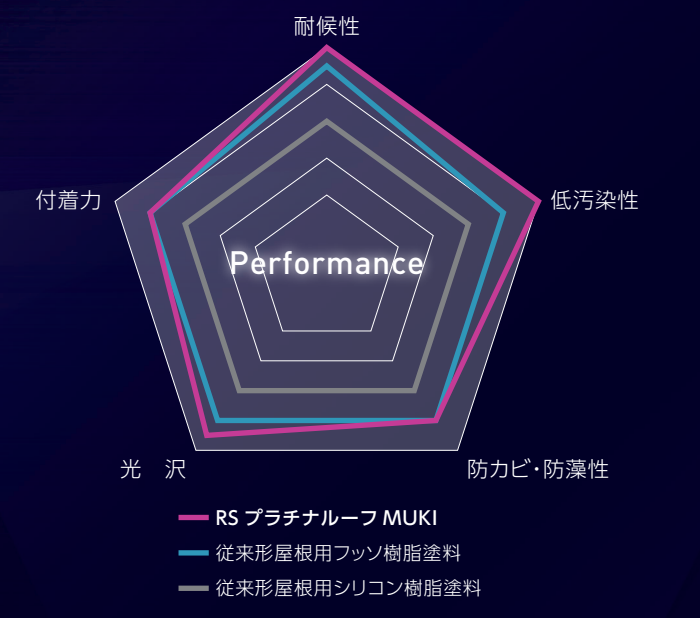
「RSプラチナルーフMUKI」は

関西ペイントのハイブリッドテクノロジーにより

「無機」と「有機」の特性を最大限に発揮させ

従来の最高位グレード「屋根用フッ素樹脂塗料」を超越。

最も過酷な環境に曝される屋根を長期にわたり保護します。



RS PLATINUM ROOF MUKI

RS プラチナルーフ MUKI

リフォーム
サミット店
Supported by KANSAI PAINT

超高耐候性

「無機」×「有機」のハイブリッド技術とラジカル制御技術により
長期耐候性を発揮します。

ラジカル制御技術採用

関西ペイントテクノロジーを駆使した、
塗膜劣化の原因物質である「ラジカル」の発生を抑える
4つの塗膜コントロール技術で、塗料の耐久性を飛躍的に向上させます。

優れた耐久性

強靱な塗膜により優れた耐久性を有します。

超低汚染性

親水化技術の採用による超低汚染性を発揮します。

高光沢

高性能レジンによる超光沢で、艶も長持ちします。

防カビ・防藻性

建物の美観を損ねるカビや藻の発生を抑制します。

幅広い素材適正

スレート屋根・金属屋根どちらにも使用可能です。

関西ペイント販売株式会社 www.kansai.co.jp

*本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。



リフォームサミット
紹介動画はこちら

(23n00n01nPN) カタログNo.845

無機 × 有機

無機・有機ハイブリッドテクノロジーが塗膜の耐久性を最大限へと導く

ラジカル制御技術

超強力な結合エネルギーを持つ国産「高性能無機レジン、フッソレジン」で紫外線劣化を阻止



無機レジン フッソレジン

ラジカルバリヤコート

酸化チタンへの紫外線到達を阻止しラジカル発生を抑制

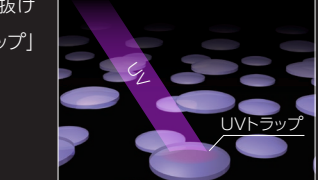


ラジカルバリヤコート 酸化チタン

※「ラジカル」とは、塗料の主成分のひとつ「酸化チタン」に紫外線が当たると発生する物質。

UVトラップ

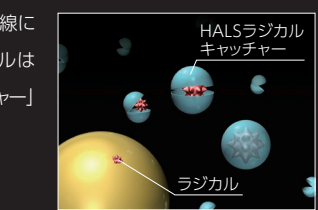
「高性能レジン」をすり抜けた紫外線を「UVトラップ」で無害化



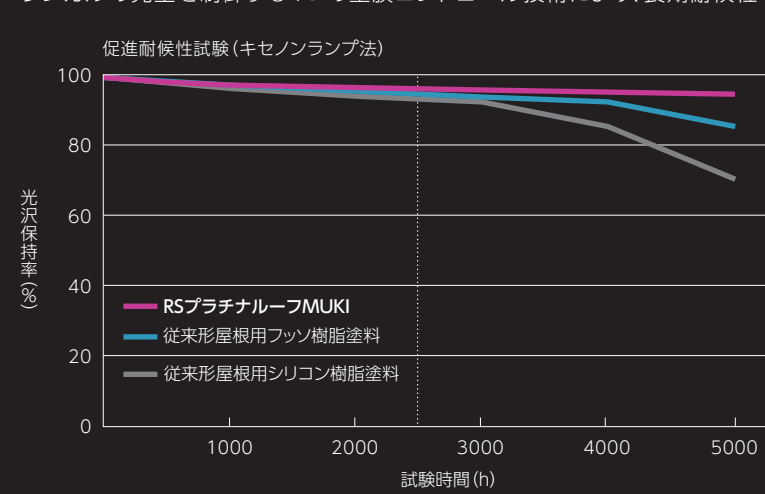
UVトラップ

HALSラジカルキャッチャー

極微量すり抜けた紫外線によって発生したラジカルは「HALSラジカルキャッチャー」で捕獲し無害化



HALSラジカルキャッチャー ラジカル

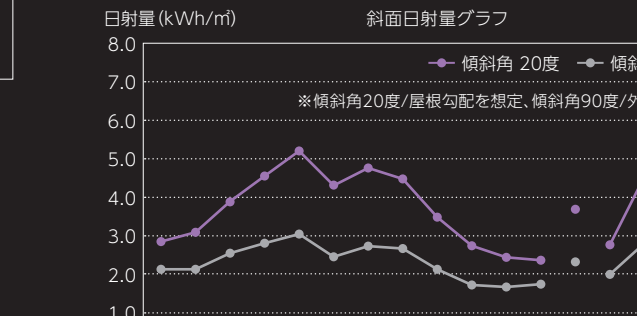


建物における屋根は外壁よりも非常に過酷な環境下にさらされます。日射量で比較すると外壁の約1.6倍と言われ、劣化が促進されます。

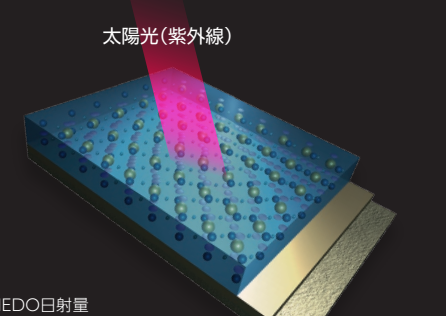
※屋根日射量 3.7kWh/m² 外壁日射量 2.34kWh/m²

日射量 (kWh/m²)

斜面日射量グラフ



※傾斜角20度/屋根勾配を想定、傾斜角90度/外壁を想定



太陽光 (紫外線)

※NEDO日射量 (東京都内千代田区) データベースより算出し引用

塗料のグレード

高いコスト

低いコスト

劣れる

優れる

シリコン樹脂塗料

フッソ樹脂塗料

RSプラチナールMUKI

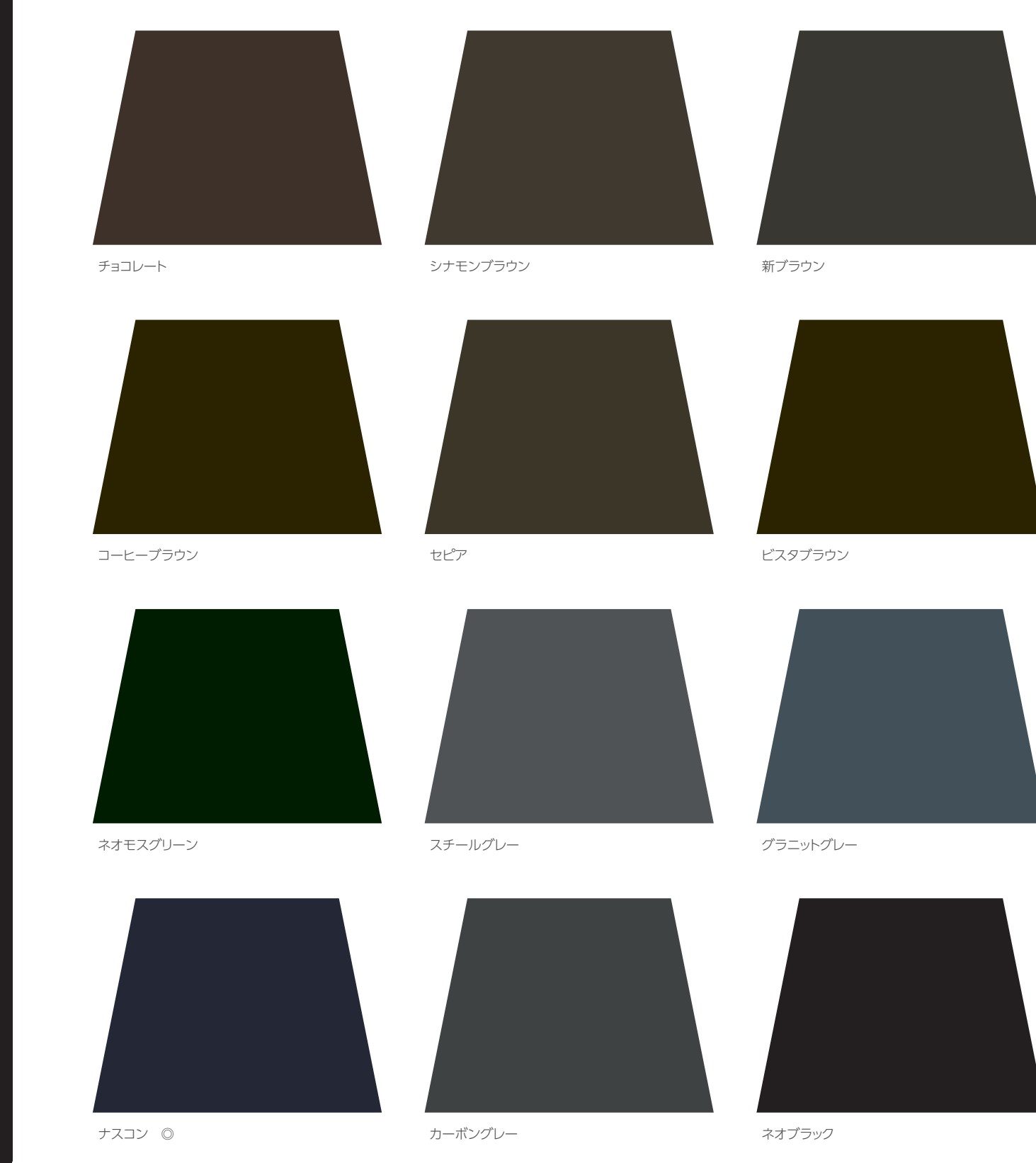
施工上の注意事項

【共通事項】

- 塗膜の劣化が不十分な状態で降雨・積雪などで負荷が掛った場合や、低温、高湿度、通風のない環境では、剥離・膨れ、割れ、白化、シミなどが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。
- 可塑剤が多く含まれる部材 (塩化ビニル、ゴム、ウレタン、ラミネート、合成皮革、プラスチック、シーリング材など) への塗装は避けてください。結着や軟化が生ずるおそれがあります。また、これら部材に直接塗膜が接触しないよう注意してください。
- 塗料用シンナーで溶解するに塗膜や下地の場合は塗膜しないください。(アクリル樹脂、ウレタン樹脂、有機溶剤など) 塗料の硬化を妨げる場合があります。
- 塗料の硬化を妨げる場合があります。山間部や河川近くなどの積雪の早く降りる多雪地域では、より条件が厳しくなりますのでご注意ください。
- 気象条件により、塗装作業は、原則として晴天日の午前9時から午後3時までの時間帯を推奨します。
- 秋明のような昼と夜の温度差が激しい時期は、結露による曇り現象がおこりやすいので、雨期を考慮して塗装を行ってください。
- 塗料の乾燥・硬化過程で、被塗物の水分の影響を受けたり、膨れ、低汚染性能を損なう場合があります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- 塗装仕様書に記載の数値は標準のもので、被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件により多少の幅を生ずることがあります。
- 耐候性能を十分に発揮させるために、所定の塗り回数と塗付量確保による施工を行ってください。
- シリコン樹脂塗料の場合、シリコン樹脂塗料の塗り回数を守ってください。
- 補修塗り時7日以内で塗り直す必要があります。それ以上経過後は補修塗りをする場合、被塗面に水を濡らすことで乾燥し、水漏れの原因を発生させ、水漏れが被塗面に浸透している場合、周囲は既に浸水が確認されており、初期/硬化剤比を遵守しても補修部が周囲よりも汚れる場合があります。この場合、区切りの良い面での補修塗りを行ってください。
- 外壁塗装の足場などの補修塗りの際には、硬化剤の入れ忘れに注意し、ペース(硬化剤)を正確に計量し塗り直してから塗装を行ってください。
- 養生紙などの養生材が不足の場合は汚染ムラ発生の原因になります。
- 補修塗りとして使用塗料の扱えを必ずおき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装を行ってください。
- 補修塗りの際は、塗装方法や凹凸のちがいに、仕上がり性に若干の差を生ずる場合がありますので、部分的に試し塗りした上で希釈率等を決定してください。
- ローラー塗装で両方向に塗る場合には、ローラー一回塗り目と塗り目との間に塗り残しが生ずることがあります。
- 刷毛塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、仕上げ肌や色相に多少の差が生じます。
- 塗り替え塗装の前に、必ず高圧水洗やブラシを用いて、被塗物の付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。下地調整が不十分な場合には塗膜剥離の原因となり、光沢不足や色ムラが発生するおそれがあります。
- 補修塗りの際は、補修部の境界線が周囲よりも目立つ場合があります。境界線を全て除去してください。
- 補修塗りにかどや垂れが懸念している場合は、下地調整としてかど・垂れの除去および殺菌処理後、十分水洗い、乾燥してから塗装してください。
- スプレー塗装を行う場合は、塗装ミスによる汚染防止のために特に十分な養生を行ってください。当社指定以外の材料を混合しないでください。
- 仕上がり性、付着性、耐久性などに支障をきたすおそれがあります。
- 塗料の硬化過程で、硬化剤の混合が不十分で硬化不良が生ずることがあります。
- 塗料は使用しない場合は、硬化剤を混合後、時間が経たずにご処分ください。
- 乾膜の厚みが不足している場合は、乾燥剤の使用を避けてください。
- 乾燥剤の使用は、乾燥剤の混合比率が合っていない場合には、仕上がり性、耐熱性、付着性、低汚染性、耐久性等の特性に影響しますので正確に計量して行ってください。
- 塗料の希釈率は試験室などにより決定し、それ

REFORM SUMMIT

標準色 屋根用



チョコレオト シナモンブラウン 新ブラウン

コーヒーブラウン セピア ビスタブラウン

ネオモスグリーン スチールグレー グラニットグレー

ナスコン カーボングレー ネオブラック

※この色見本は、紙に塗装していますので実際の仕上りと多少異なります。印は、材料費が割高になります。見本本の有効期限は2026年●月です。

